

平成26年度

教育委員会事務点検・評価報告書

平成27年 5月28日

竹原市教育委員会

# 目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成26年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	6
4	平成26年度事業の点検及び評価	7
	（1）学校・教育環境の充実	
	（2）生涯学習の推進	
	（3）スポーツ・レクリエーションの振興	
	（4）文化・芸術の振興	
	（5）青少年健全育成の推進	
	（6）人材育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	16
6	参考資料	18
	Ⅰ 平成26年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	Ⅱ 平成26年度 新体力テスト結果等	
	Ⅲ 平成26年度 図書館・美術館利用状況等	

# 1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成26年度教育委員会議開催実績

教育委員会 開催年月日	開催回数 定例臨時別	議案 番号	件 名
H26. 4. 24	第4回 定例会	19	竹原市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令案
		20	竹原市立学校学校評議員の委嘱について
		21	竹原市結核対策委員会委員の委嘱について
		22	竹原市社会教育委員の委嘱について
		23	市立竹原書院図書館協議会委員の任命について
		24	竹原市重要文化財の指定について
		25	竹原市重要文化財の名称変更について
		報告 協議	学校施設の耐震化について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告 協議	竹原市におけるこれからの生涯学習の推進方策について
H26. 5. 29	第5回 定例会	26	竹原市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		27	学校歯科医の委嘱について
		28	竹原市教科用図書採択地区選定委員会委員の委嘱について
		29	竹原市教科用図書採択地区調査員の委嘱について
		30	たけはら美術館協議会委員の任命について
		31	竹原市公民館運営審議会委員の委嘱について
		32	竹原市立学校職員服務規程の一部を改正する訓令案
		33	竹原市立学校等職員の自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する告示案
		34	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区保存計画の一部を改正する告示案
		35	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成26年度教育委員会関係補正予算案）

		36	平成25年度教育委員会事務点検・評価報告書案について
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 5. 30	第4回 臨時会	37	竹原市教育相談員の委嘱について
H26. 6. 26	第6回 定例会	38	平成26年度準要保護児童及び生徒の認定について
		39	竹原市特別支援教育相談委員会委員の委嘱について
		40	竹原市特別支援教育相談委員会推進員の委嘱について
		41	竹原市スポーツ推進委員の委嘱について
		42	竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 7. 24	第7回 定例会	43	平成26年度準要保護児童及び生徒の認定について
		44	竹原市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則案
		45	平成27年度使用竹原市小学校教科用図書の採択について
		46	学校薬剤師の委嘱について
		47	たけはら美術館協議会委員の任命について
		48	竹原市立公民館長の任命について
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 8. 19	第5回 臨時会	49	教職員の人事について
H26. 8. 21	第8回 定例会	50	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市立学校設置条例の一部を改正する条例案）
		51	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成26年度教育委員会関係補正予算案）
		52	平成26年度準要保護児童及び生徒の認定について
		53	平成27年度使用特別支援学級用教科用図書の認定について
		報告 協議	小中一貫教育について

H26. 9. 4	第 6 回 臨時会	54	職員の任免その他の人事について
H26. 9. 25	第 9 回 定例会	55	職員の任免その他の人事について
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 10. 23	第 1 0 回 定例会	報告 協議	小中一貫教育について
H26. 11. 27	第 1 1 回 定例会	56	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市歴史民俗資料館及び竹原市伝統的建造物の指定管理者の指定について）
		57	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 6 年度教育委員会関係補正予算案）
		58	平成 2 6 年度準要保護児童及び生徒の認定について
		報告 協議	小中一貫教育について
H26. 12. 25	第 1 2 回 定例会	報告 協議	小中一貫教育について
H27. 1. 22	第 1 回 定例会	1	竹原市教育委員会委員長の選挙について
		2	竹原市教育委員会委員長の職務代理者を指定することについて
		3	市立竹原書院図書館長の任命について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告 協議	旧日の丸写真館の国登録有形文化財登録について
H27. 2. 12	第 2 回 定例会	4	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市いじめ問題調査委員会設置条例案）
		5	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する等の条例案）
		6	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市特別職の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する等の条例案）
		7	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（竹原市公立学校使用条例等の一部を改正する条例案）
		8	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 6 年度教育委員会関係補正予算案）
		9	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成 2 7 年度教育委員会関係当初予算案）
		10	平成 2 6 年度準要保護児童及び生徒の認定について

H27.3.17	第1回臨時会	11	平成26年度末・平成27年度始教職員の人事について
		12	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
H27.3.24	第3回定例会	13	職員の任命その他の人事について
		14	平成26年度準要保護児童及び生徒の認定について
		15	学校医の委嘱について
		16	学校歯科医の委嘱について
		17	学校薬剤師の委嘱について
		18	竹原市嘱託外国語指導助手の任用について
		19	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		20	竹原市歴史民俗資料館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案
		21	竹原市立美術館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案
		22	竹原市伝統的建造物設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案
		23	竹原市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
		24	竹原市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則案
		25	竹原市立学校等屋外運動場夜間照明施設利用実施要綱の一部を改正する告示案
		26	竹原市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則案
		27	竹原市教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則案
	報告協議		小中一貫教育について

### 3 評価の方法

#### (1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、6つの項目に分けて記しています。

#### (2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

#### (3) 取組結果と自己評価

「取組結果」には、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを記し、「自己評価」は次の4点から総合的な評価を行っています。

##### ① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

##### ② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

##### ③ 目標達成度

目標の達成状況の評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

##### ④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

#### (4) 課題と平成27年度の取組方向

項目ごとに課題と平成27年度の取組方向を記しています。

#### (5) 評価委員による評価

3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。



# 平成26年度事業の点検及び評価

## (1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「信頼される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
小・中学校施設耐震化事業 1,32,700千円	<p>【主要目標】 児童生徒が1日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。</p> <p>【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、耐震化工事（大乗小校舎・竹原西小校舎（新館）・東野小校舎・中通小校舎）及び屋内運動場の耐震化に係る実施設計（大乗小屋内運動場・中通小屋内運動場・竹原中屋内運動場）を行う。</p> <p>【主要目標】 建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んだ学校施設の計画的な改修を図る。</p> <p>【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール施設改修工事（大乗小・竹原西小・仁賀小）、吊テレビ撤去工事（大乗小・東野小・仁賀小・吉名小・吉名中）、消火器（各校）及び量水器取替（竹原中）を行う。</p>	<p>平成28年度に小・中学校施設の全ての耐震診断が完了し耐震化計画を策定した。平成26年度は大乗小校舎、竹原西小校舎（新館）、東野小校舎、中通小校舎、忠海中校舎・屋内運動場（小中一貫校整備工事中）の耐震補強工事及び大乗小・中通小・竹原中屋内運動場の耐震化に係る実施設計を行った。吉名小校舎を除き、平成27年度までに学校施設の耐震化が完了する見込み。《平成26年度未耐震化率》84.8%</p> <p>学校施設の計画的な改修を図り、児童生徒の安全な教育環境を確保するため、プール施設改修工事（大乗小・竹原西小・仁賀小）、吊テレビ撤去工事（大乗小・東野小・仁賀小・吉名小・吉名中）、消火器（各校）及び量水器取替（竹原中）を行った。</p>	<p>忠海中校舎・屋内運動場（小中一貫校整備工事中）、大乗小屋内運動場、中通小屋内運動場、竹原中屋内運動場の耐震補強工事を行う。</p> <p>学校施設は、建築後30年以上経過した学校が多く、施設の老朽化が進んでいる。児童生徒の安全な教育環境を確保するため、今後も計画的な改修を進めていく。学校からの修繕要望や各種法定検査により、指摘のあった事項については、迅速に対応する。平成27年度は、小学校遊具新設改修工事及び竹原中給排水設備改修工事を行う。</p>
小・中学校施設改修事業 3,230千円	<p>【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】 忠海中学校区・吉名中学校区において、一体型小中一貫教育を推進するため、講演会及び先進地視察を行う。忠海中学校区は、平成27年4月に忠海東小学校・忠海西小学校が統合し、「仮称 忠海小学校」になるため、実行委員会による閉校記念行事を行う。</p>	<p>忠海中学校区は平成27年3月に忠海東小学校・忠海西小学校の開校式を行い、一体型小中一貫校「忠海学園」が平成27年4月開校される。吉名中学校区においては、設立準備委員会を設置し、基本設計について協議を開始した。</p>	<p>忠海中学校区では平成27年7月の新校舎完成、8月の移転に向け、引き続きを準備行う。吉名中学校区では基本設計を確定させ、実施設計を行う。</p>
小中一貫校教育推進事業 2,013千円	<p>【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。</p> <p>【事業内容】 忠海中学校区において、一体型小中一貫校の整備を行う（小学校棟新築、校舎西棟耐震補強、校舎大規模改修、屋内運動場耐震補強、プール改修、小学生遊具設置、外構工事等）。</p>	<p>忠海中学校区において、平成27年9月に供用開始する一体型小中一貫校「忠海学園」の整備工事を平成26年4月から実施中（校舎南棟解体、小学校棟新築、校舎西棟耐震補強、校舎大規模改修、屋内運動場耐震補強、プール改修、小学生遊具設置、外構工事等）。</p>	<p>引き続き、平成27年9月供用開始を目指す、工事の進捗を図っていく。</p>
竹原市私立幼稚園振興事業 1,199,841千円	<p>【主要目標】 幼児の発達段階に応じた指導と相互の交流を通じて、心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため、一人ひとりに応じた幼稚園教育の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 私立幼稚園の管理及び運営の円滑かつ適正な幼稚園経営に資するため、市内の私立幼稚園設置者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p>	<p>市内の私立幼稚園設置者に対し、施設設備の購入又は設置に要する経費及び園運営上必要な人件費等に対し、国等他の公共的団体からの補助を減じ、予算の範囲内でそれぞれ次のとおり補助金を交付した。 《補助額》 聖愛幼稚園 2,300千円・中央幼稚園 500千円</p>	<p>平成27年度から子ども子育て支援新制度が開始され、市内の私立幼稚園は1園となり新制度に移行するため、施設型給付が支給される。</p>
学校給食運営事業 78,887千円	<p>【主要目標】 市内全小・中学校に安全・安心な学校給食を提供するとともに、食育を推進する拠点として運営を行う。</p> <p>【事業内容】 平成21年度に学校給食センターを整備し、平成22年9月から民間委託による調理業務を開始した。平成24年度から市内14小中学校（約2千2百食）へ学校給食を提供している。</p>	<p>学校給食センターより市内全小中学校に安全で安心な学校給食を提供するとともに、給食を教材とした食育（給食時間の学校訪問指導、給食試食会の開催等）や、給食に積極的に地産産物を取り入れることで地産地消の取組を推進した。 また、民間委託による調理業務を継続し効率化を図るとともに、民間のノウハウも取り入れて、衛生管理やアレルギー食への対応を更に強化した。</p>	<p>安心安全な給食の提供および地産地消については概ね目標を達成できた。 27年度も引き続き多様化する要望に対応するため、調理委託業者や学校等と連携を深め、給食の質の向上を目指していく。 また、円滑な学校給食の実施のため、保護者に対し、給食の重要性及び基本的な仕組みについて理解を促める。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
食育推進事業 275千円	<p>【主要目標】 学校、地域及び行政が連携協力し、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学びながら、食事の準備ができる子を育成するため、家庭での調理体験や食材運びなどの実践力を高める食育推進を図る。</p> <p>【事業内容】 地場産物を使用した料理コンテストの実施。優秀作品等レシピ集の作成・配布。</p>	<p>学校給食を教材に、家庭を巻き込んだ食育推進を図るため、「食べよう!!!」竹ちゃん給食プロジェクトを実施した。地場産物を使用した竹原ならではの学校給食を「竹ちゃん給食」として、家庭や地域に紹介するとともに、企業（アヲハタ・峠下・J.A）ともコラボの配布等の連携を図った。</p> <p>また、新「竹ちゃん給食」を決定するため、児童生徒対象の料理コンテストを後援企業と連携し実施した。応募546作品の中から、12作品を選び、レシピ集を作成し配布した。</p>	<p>アンケートの結果では、家庭の実践率は低く、家庭への啓発や周知には至らなかったが、児童生徒を除く延べ1,480人の住民が、竹ちゃん給食を味わっていることから、継続して紹介していくことで、「竹ちゃん給食」の周知や家庭での活用も増えることが期待できる。</p> <p>また、料理コンテストで選ばれた優秀作品は平成27年度の学校給食で提供し、家庭での食材になるように紹介していく。</p>
外国語指導助手配置事業 12,333千円	<p>【主要目標】 児童生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。</p> <p>【事業内容】 ALT（外国語指導助手）を3名雇用し、小学校の外国語活動又は中学校の英語科の授業で教員の補助をする。</p>	<p>市内14校に3名のALT（外国語指導助手）を配置し、外国語活動及び英語科の時間に活用した。各校と日程調整を綿密に行い、ALTをより効果的に活用するための取組を行った。また、コーディネーター業者と連携し、定期的にALTの評価を行いながら、ALTの育成にも力を入れた。</p>	<p>継続して、児童生徒の英語力の向上に取り組み。</p> <p>また、外国語活動や外国語の学習を通して、児童生徒に外国語によるコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p>
小・中学校教育用ICT機関連事業 22,993千円	<p>【主要目標】 ICT機器を活用した思考力・表現力を育てる授業の充実</p> <p>【事業内容】 パソコン整備（設置場所：パソコン教室） パソコン台数 小学校：269台、中学校：148台 電子黒板等ICT機器整備（設置場所：普通教室ほか） 電子黒板台数 小学校：35台、中学校：20台</p>	<p>平成17年度からパソコン教室へ、児童生徒用パソコンを整備している。さらに平成24年9月1日から5年間リースにより、電子黒板及び教材提示装置を小学校の5・6年教室へ1台ずつ、中学校の竹原中学校（ICT実践指定校）は全クラス及び理科教室へ、他の中学校は各校へ2台ずつ整備し活用している。</p> <p>竹原小学校・中通小学校では企業と連携し、タブレットを活用した授業の実践検証を行った。今後パソコン教室の在り方について検討している。全校でICT機器を活用した授業を実践し、児童生徒の思考力・表現力の向上を図っている。</p>	<p>タブレット型パソコンの整備を進めていく。</p> <p>平成27年4月に作成した「竹原市ICT活用ハンドブック」等を活用し、継続して児童生徒の意欲向上を図るとともに主体的な授業づくりに取り組んでいく。整備しているICT機器の効果的に活用し、日常的なドリル教材による反復練習や視覚的な支援、考えを可視化した授業づくり等が計画的に実施できるように研修会や中間指導等を行っている。</p>
竹原っこ夢プロジェクト事業 1,000千円	<p>【主要目標】 児童生徒が夢と希望を持ち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。</p> <p>【事業内容】 児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。 小学校2件、中学校1件を対象とする。</p>	<p>市内2小学校、1中学校において、児童が将来に夢を持つとともにふぶさど竹原に誇りを感じ、主体的に生きていくための力を育成した。</p> <p>【竹原小学校】 学年のみならず、竹原小学校や竹原の町をアピールする大きな壁画を描いてみたいという夢から、陶芸家に指導をいただきながら、「憧憬の鼓」(瀬伝馬「塩物語の風景」)を図案にした壁画を版画で製作した。</p> <p>【中通小学校】 「竹楽器を作ってみよう」また、「その竹楽器で演奏したい」という夢から、地域の方にバンブー楽器（竹楽器）の作り方や演奏の仕方を教えていただき、学習の成果を学習発表会や子ども文化祭で演奏した。</p> <p>【忠海中学校】 「外国の同世代の子どもたちと交流したい」「外国へ行ってみよう」 見たり、どんな生活をしているのか知りたい。」という生徒の夢から、外国人を招いて、いろいろなるブースを回って、自分が使える英語を使って課題を解決するというワークショップを実施した。</p>	<p>児童生徒が夢と希望を持ち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。</p> <p>児童生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて継続して支援を行う。</p> <p>積極的に児童生徒が夢をもてるような取組を進めていく。</p>
理科補助員配置事業 416千円	<p>【主要目標】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。</p> <p>【事業内容】 理科が得意な人材を小学校理科授業（5・6年生）に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、効果的な実験等の演習や体験活動などを行う。</p>	<p>市内2小学校（竹原小学校・竹原西小学校）に理科観察実験補助員を配置した。各学年25回（1回につき3時間の支援）の活用で、理科室の整備をはじめ、理科授業の充実・活性化を図ることができた。</p> <p>児童アンケートの結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察実験を通して問題を解決できるようになった。肯定的回答 86%</li> <li>・理科の授業が分かるようになった。肯定的回答 86%</li> </ul>	<p>理科の授業を通して、主体的な問題解決の力は育ってきている。より確かな問題解決力を身に付けるために、児童への実践観察における細やかな支援を行うとともに、教員の観察・実験等に係る指導力の向上も図っていく。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
小学校公開授業研究会推進事業 1,854千円	<p>【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 総合的な学習、各教科及び各領域での教育公開研究会を開催する。</p> <p>【実施校】 * 忠海東小学校 (10月10日) * 忠海西小学校 (9月26日) * 大乗小学校 (1月28日) * 竹原小学校 (10月17日) * 中通小学校 (10月24日) * 竹原西小学校 (9月17日) * 東野小学校 (10月2日) * 狂野小学校 (9月19日) * 仁賀小学校 (10月7日) * 吉名小学校 (10月1日)</p>	<p>市内10小学校すべてにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。 各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、一人一人の児童に確かな学力を育成するための取組について深めることができた。また、各校に整備した電子黒板等のICTを効果的に活用し授業改善に努めるとともに、児童の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	<p>学力調査等の結果に基づき児童の実態を明らかにし、その課題の解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。</p>
中学校公開授業研究会推進事業 557千円	<p>【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施校】 * 忠海中学校 (11月13日) * 竹原中学校 (10月16日) * 賀茂川中学校 (10月22日) * 吉名中学校 (9月30日)</p>	<p>市内4中学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。 各校においては、公開授業後の研究協議会を充実させ、一人一人の生徒に確かな学力を育成するための取組について深めることができた。また、各校に整備した電子黒板等のICTを効果的に活用し授業改善に努めるとともに、児童の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p>	<p>学力調査等の結果に基づき生徒の実態を明らかにし、その課題の解決に向け、授業改善を生かした取組が推進されるよう教育研究会をより充実していく。</p>
学校緑化推進事業 799千円	<p>【主要目標】 小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心安らぎと潤いのある教育環境を創造するとともに、児童生徒への環境に対する関心を高める。</p> <p>【事業内容】 児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組に広げる。</p> <p>【実施校】 * 小・中学校全校</p>	<p>市内小・中学校で、創意工夫した学校緑化を進め、学校の美化や景観の向上を図った。各校の取組を11月の竹原市子ども文化祭においてパネルで発表した。学校からは、植物の世話をすることで、自然に対する関心が深まった。植物の世話が地域の方とのコミュニケーションのきっかけとなった。児童生徒の川柳や俳句、体験を通じた喜びや驚きが素直に表現されるようになった。などの意見をいただいた。家庭部門では、市内小・中学校から105名の応募があった。外部の専門家から、「年々各学校や家庭での取組が進化しており、素晴らしい」という講評をいただいた。</p>	<p>学校緑化については、各校とも活動が計画的に実施され、よりすばらしい活動の創造へと発展している。 今後は子供たちの活動がより主体的になるよう、各校においてさらに子供たちが主体となる工夫した活動を計画していく。</p>
幼稚園教育公開研究会推進事業	<p>【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育てるため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施園】 * 竹原西幼稚園 (10月9日)</p>	<p>市内1幼稚園において、これまでの教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。市内の学校の教職員はもとより、市外の幼稚園、地帯の方々、保護者の方々の多くの参加をいただき実施することができた。</p>	<p>より充実した幼稚園教育公開研究会を実施するために、幼稚園教職員の研修を充実させ、教育研究の質を高めていく。</p>

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
学力検査事業 1, 497千円	【主要目標】 児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 標準学力調査を実施し、その結果を分析し学力向上を図る。	市内全小・中学校において(小・学校1年生は除く)業者による学力テストを実施した。 各校において調査結果の分析を行い、児童生徒の実態を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、他の学力調査等との比較を行い、より精度の高い分析を行いながら取組を進めることで、より効果的な取組を進めることが出来た。	標準学力調査を継続して実施し、その結果を分析し課題と取組を明らかにすることで学力向上を図る。 竹原市ホームページにおいて、竹原市の各種学力検査の結果を全市・広島県の結果とともに公表している。各校においては、結果を分析し、改善計画を立て公表し、計画的に授業改善を実施している。
体力テスト事業 337千円	【主要目標】 児童生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。 【事業内容】 全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力向上を図る。	市内全小・中学校において実施した新体力テストの結果を分析すると、小・中学校では、体格は概ね全国平均だが、やや下回っている。体力は、小学校において調査項目の90.6%(昨年度90.7%)であった。また、中学校で上回っているのは調査項目の59.9%(昨年度36.7%)であった。小学校と比較して体力面の課題が見られるが、昨年度から20ポイント以上上がっており、小学校とともに取組の成果が現れている。	全学年体力テストを継続して実施し、その結果を分析し、課題と取組を明らかにするとともに、その分析をもとに体力運動能力向上計画を作成し、課題解決に取り組む。
総合的な学習等の推進事業 975千円	【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の授業を充実させる。 【事業内容】 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。	年間計画に位置づけ、充実した総合的な学習の時間を進めるために、校外の講師の招聘を計画的に進め、地域の人材も活用することができた。児童生徒は、講師から様々な話を聞いたり、体験をしたりすることができた。 10年目をむかえた「職場体験学習」では、地域の約123事業所の協力により、約205名の4中学校の生徒が参加することができた。保護者・事業所・生徒の事後アンケートでは、9割以上の肯定的評価をいただいた。	児童生徒による課題発見、課題解決学習を通じた主体的な学びの場として総合的な学習の時間を位置づけ、各校の特色ある学習へと充実させていく。
教育相談事業 4, 046千円	【主要目標】 学校で対応できない複雑化・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、児童生徒等の健全育成を図る。 【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。	教育相談室に1名の非常勤教育相談員を配置し、不登校をはじめとする教育問題について相談・支援を受けている。生徒指導上の問題行動に係る相談もあり、生徒の立ち直り支援に向けての活動も行った。	教育相談室と学校、家庭との連携を密にし、児童生徒への支援を三者で行い、より効果的なものへとしていく。

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習施設の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内 容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
公民館運営事業 17, 958千円	【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯「いつでも」「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会を目指して諸条件を整備する。 【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開講する。 ○ その他各種学級講座 《実施時期》 5月～3月 ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月 ○ 公民館役員研修等 《実施時期》 5月～3月 ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月 ○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月 ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月 ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回	生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報提供を行っている。 また、公民館職員の資質向上のため、毎年、研修を実施しているが、今年度は家庭教育(子育て)支援について、先進事例の取組などを学び、各公民館での学習プログラムの企画(実践)力を身につける研修会を3回実施した。 「知の循環型社会の構築」に向けて、これからの生涯学習に係る市の方向性について、公民館運営審議会や公民館連絡会議に対し説明するとともに、市内全公民館へのヒアリングも実施した。	「知の循環型社会の構築」を目指し、一昨年度、社会教育委員会から提出された答申「これからの生涯学習の推進方策について」を踏まえ、より良い生涯学習を推進する仕組みづくり・環境づくりについて、引き続き検討していく。

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
成人式事業 630千円	<p>【主要目標】 新成人者を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者及び関係者（多くの市民）と共に祝福する。</p> <p>【事業内容】 ○ 式典（市長メッセージ、来賓祝辞、新成人誓いの言葉） ○ アトラクション 【開催時期】 平成27年 1月10日（土） 【開催場所】 竹原市民館ホール</p>	<p>新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会が会議を重ねて、成人者の心に残り糧となるような成人式を実施した。子から親への感謝の手紙や恩師等からのビデオレターを行い、大変好評であった。また、実行委員会でプログラムや案内状の作成やロビーの飾りつけを行い、手作り感のある成人式ができた。</p>	<p>実行委員会委員の公募については、広報紙により募集をしているが、自らの応募が少ない状況である。学校からの紹介及び新成人同士のつながりによりによる声かけなどを行っている。 平成27年度においても、成人式事業を実施するが、実行委員会が企画する成人式のアトラクションなど、より多くの成人者が参加できるように検討していく。</p>
自動車文庫事業 1,140千円	<p>【主要目標】 市立竹原書院図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供する環境整備を図るため、更なる、更なる、更なる、更なるの提供が均等化するよう努める。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実を図っている。平成16年度より、市内全保育所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。その他、市民への読書活動啓蒙として、市内のイベントに参加し、PR・貸出・返却・本の読み語りを実施する。</p> <p>【事業内容】 ○ 37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。 ○ 自動車文庫に約2,500冊（成人、児童向けを各50%）を掲載して貸出・返却を行う。</p>	<p>37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回し、貸出、返却読みたい本のリクエスト受付などを行った。 小学校巡回時には、わかたけ号掲載の本以外に約500冊の絵本や児童書、紙芝居など、児童生徒が多くの本に接触し、自分で借りる事ができるよう対応した。また、短い休憩時間内で、貸出、返却処理ができるよう職員を増員し対応した。 全保育所・小学校・中学校・放課後児童クラブへの団体貸出を行い、各所へ本を搬送した。（毎月本の入れ替えを行った） 自動車文庫（移動図書館）を多くの方々に知って、利用していただく機会として市内のイベント（ふくし健康まつり・ぶちええ竹原）に参加し、貸出・返却、大型本の読み語りを行った。 福祉施設をステーションに組み入れ、巡回し、入所者・作業者への本の貸出を行った。</p>	<p>ステーションまで来られない方への対応として、公民館や支所での取り継ぎについて、検討中である。</p>
新1年生ブックスタート事業 273千円	<p>【主要目標】 読書に興味を持ち、持続的な読書習慣を家族とともに作り出す。</p> <p>【事業内容】 ○ 小学新1年生に絵本『ちいさいきみとおおきいぼうく』を読書意欲の継続と向上を目的に読書カードと共に配布する。 ○ 1年間（平成27年2月末日まで）に多く読んだ児童を表彰する。</p>	<p>新1年生を対象に『ちいさいきみとおおきいぼうく』をプレゼントした。同時に読書カードを配布した。そのカードに1年間に読んだ本を記入し、図書館に提出してもらい表彰した。1年生クラス全員で取り組んだ学校もあった。</p>	<p>持続的な読書習慣を家族とともに作り出すきっかけ、手助けとなるよう引き続き新1年生全員に1冊の本をプレゼントする。 また、学校と連携しながら、学校図書館整備や自動車文庫事業など本に触れ合う機会の提供に努めていく。</p>
学校図書館支援事業 160千円	<p>【主要目標】 児童生徒に愛され利用しやすい学校図書館を目指して整備すると同時に、地域コーディネーター・ボランティアを養成することにより、学校教育を支援する。</p> <p>【事業内容】 ○ 学校図書館支援ボランティアの研修会を開催する。 ○ 忠海西小学校・忠海東小学校2校について、学校図書館の改造計画を策定し、行政・学校・地域が連携して学校図書館の環境改善に取り組み。</p>	<p>忠海西小学校・忠海東小学校の図書館の整備（図書の払い出し・分類・書架整理・本の修理）など、各校にて、図書館整備ボランティアを募集し、他校の図書館整備ボランティアと共に整備を行い、学校図書館の環境の改善を行った。 児童生徒に実際に絵本の著者の話を聞く機会として、長谷川集平氏を講師に招き、忠海中学校1年から3年生・忠海西小学校6年生・市内図書館整備ボランティアの方々に向けにの講演会を行った。</p>	<p>これまで、整備を行った学校図書館の現在の様子を把握し、整備ボランティアのスキル向上や活動の継続に向けて支援を行う。</p>

(3) どれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実に有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
学校体育施設開放事業 1,678千円	<p>【主要目標】 学校等の体育施設（屋内運動場・グラウンド）を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p>【事業内容】 学校体育施設（市内小学校14校、忠海高等学校、竹原高等学校）に管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>学校開放施設16校（市内小中学校14校、高校2校）を利用状況に応じて、各90日から160日間開放し、各種競技を通じて、地域住民の健康増進や競技力の向上、生涯スポーツの推進を図っている。</p>	<p>学校と連携して、体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放することにより、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進に努める。</p>

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
スポーツ推進委員活動事業 4,73千円	<p><b>【主要目標】</b>            スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。又、各種研修会・研究大会等にも参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市スポーツ推進委員総会</li> <li>○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会</li> <li>○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会</li> <li>○ 広島県スポーツ推進委員研究大会</li> <li>○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会</li> <li>○ 広島県総合マネジメント研修会</li> <li>○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会</li> <li>○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言</li> </ul>	各種研修会等に出席するとともに、ロードレース大会などの各種スポーツ大会の運営協力や、吉名町スポーツ振興会主催のスポーツ行事における体力アップの実施など、スポーツ振興に寄与した。 平成26年度は、尾三地区スポーツ推進委員協議会の定期総会及び交流競技大会を本市で開催し、約70名の参加者が交流し、資質の向上に努めた。	スポーツ推進委員が積極的に研修会や研究大会等に参加し、相互の情報交流や資質向上を図っていく。
各種体育大会・行事運営事業 5,196千円	<p><b>【主要目標】</b>            生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持・増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民ハイキング</li> <li>○ 竹原市民体育大会 ○ 竹原駅伝競走大会</li> <li>○ 竹原ロードレース大会 ○ 芸南学童水泳大会</li> <li>○ 竹原市少年野球大会 ○ 竹原市少年サッカー大会</li> <li>○ 竹原市バレーボール講習会 ○ チャレンジデー</li> </ul>	少年野球大会、芸南水泳大会など青少年スポーツ活動育成事業や、竹原駅伝競走大会等、社会体育行事を開催した。竹原駅伝競走大会では、第60回の記念大会として、元中国電力陸上競技部の尾方剛氏を招聘し、ゲストランナーとしての伴走や競技終了後に陸上教室も開催した。竹原ロードレースでは、13部門に659名が参加し、市外からの参加者も多く、県内の恒例行事として定着している。また、市民体育大会も39回を数え、12競技部門で健康保持増進や親睦を図られた。 チャレンジデーでは、市内事業所への協力依頼や報道機関への情報提供をしたことで、過去最高の参加率(56.2%)を得ることができた。	各種体育大会・行事を体育協会等の関係団体と連携・実施し、スポーツ振興を図る。
体育施設管理維持事業 5,070千円	<p><b>【主要目標】</b>            市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p><b>【事業内容】</b>            市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド</li> <li>・体育館アリーナ……バレーボール、バスケットボール、卓球、剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル</li> <li>・多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ</li> <li>・テニスコート</li> <li>・トレニングルーム</li> <li>○ 竹原市宮相撲場</li> <li>○ スポーツ広場……忠海・小栗・大井・宿根・田万里スポーツ広場</li> <li>○ 学校体育施設</li> <li>・グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス</li> <li>・屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー、卓球</li> </ul>	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド体育施設において、体育館の照明器具の取替やロビーの施設修繕などを行い、利用者の利便性の向上を図った。施設の管理については、指定管理者であるNPO法人バンブー・スポーツクラブにおいて、各種スポーツ教室・大会の実施や住民交流事業を開催し、体育・スポーツ振興を図っている。 また、大乗・竹原・吉名小学校の各グラウンド照明の修繕や、中通・忠海西小学校の防球ネット等の施設修繕、大井スポーツ広場のトイレ修繕を行い、施設の利用環境の向上を図った。	総合公園バンブー・ジョイ・ハイランドなどの体育施設の適切な維持管理により、スポーツ環境の整備・充実に努める。

<p>施策・事業名 プロアスリートスポーツ教室事業 242千円</p>	<p>内容等 【主要目標】 竹原市子どもたちがスポーツを通じて夢や目標を持ち、取り組むことにより、競技力の向上と底辺拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の指導方法を学ぶことができ、指導力の向上・育成にもつながり、競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。 【事業内容】 NPO法人トッパス広島協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 (NPO法人トッパス広島の加盟団体) サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、N.T.T.西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレックス</p>	<p>取組結果と自己評価 今回で4回目となるプロアスリート教室は、平成27年2月14日(土)にバンプ・ジョイ・ハイルランドで広島ガスバドミントン部による教室を開催し、66名の参加があり、バドミントン競技のジュニアスポーツ育成、指導者の資質向上を図った。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>課題と平成27年度の取組方向 NPO法人トッパス広島協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を実施し、競技力の向上や人材育成に努める。</p>
---	--	---	--

(4) 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、活用・魅力づくり」の推進

<p>施策・事業名 文化財保存事業 39,373千円</p>	<p>内容等 【主要目標】 伝統的建造物群保存地区、建造物、史跡、天然記念物、埋蔵文化財、美術工芸品、工芸技術、伝統的芸能など、文化的価値を有する文化財の保存と新たな文化財の発掘に努め、文化的景観の整備と保存意識の向上を図る。 【事業内容】 ○ 伝統的建造物群保存地区 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ○ 保存対策検討事業 ○ その他文化財保存事業</p>	<p>取組結果と自己評価 ○ 伝統的建造物群保存管理事業 ・ 葛岡家住宅 (7,398千円)、三村家住宅 (7,538千円) の保存修理・修景事業を実施 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ・ 「宿館の火袋」を市重要文化財に指定 (指定年月日：平成26年4月24日) ・ 春風館頼家住宅、復古館頼家住宅の小修理、消防設備点検補助を実施 (補助額 208千円) ・ 指定文化財等の管理を地域の文化財保護団体等への委託により実施 ・ 文化4施設 (松坂邸・光本邸・森川邸・歴史民俗資料館) は、指定管理者制度により活用を促進 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ・ 開発行為に伴う試掘調査の実施 ・ 中田万里地区は掘整備に伴う試掘調査の実施 ○ 保存対策検討事業 ・ 町並み保存地区の保存施策等の骨格となる保存計画における学術的な記述に係る担当者会議の開催 ・ 竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会における協議 ○ 歴史的風致維持向上事業 ・ 藤井酒造保存修理の設計助成 (事業費 約1,760千円) ・ 吉井家住宅調査研究事業 (平成26年度 事業費3,000千円) ※平成26年度～平成28年度 事業費約10,000千円 ○ その他文化財保存事業 ・ 伝統行事等助成事業 (助成金 2,500千円) 竹原町並み保存会の歴史的景観の再現に対し助成金を交付 江戸時代に各家の門前に吊り下げられていた提灯を「町並み竹灯り」だけはら「遺蹟の路～」で再現 ・ 竹原市史編さん記録保存事業 竹原の記事が多く掲載された芸南新聞 (芸南時報も含む) の見出しをデータ化し、キーワードで検索できるようにした。 ・ 文化財防火訓練 平成27年1月24日 森川家住宅で実施 平成27年2月14日 町並み保存センターで実施</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>課題と平成27年度の取組方向 ○ 伝統的建造物群保存管理事業 ・ 阿保家住宅、葛岡家住宅の保存修理・修景事業を実施する。 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ・ 町並み保存地区シロアロ対策事業 (予算額1,500千円) ・ 春風館頼家住宅、復古館頼家住宅の消防設備点検補助を実施 ・ 指定文化財等は適切な管理を地域の文化財保護団体等に委託により実施 ・ 文化4施設 (松坂邸・光本邸・森川邸・歴史民俗資料館) は、指定管理者制度を活用し、建造物の維持管理と遺蹟の路や掘めぐりと各種イベント等と連携した取組を推進 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ・ 開発行為に伴う試掘調査の実施 ・ 中田万里地区は掘整備に伴う試掘調査の実施 ○ 保存対策検討事業 ・ 関連施策の調整・記述 ○ 歴史的風致維持向上事業 ・ 藤井酒造保存修理助成 (事業費 約2,000万円) ・ 吉井家住宅調査研究事業 (事業費 2,946千円) その他文化財保存事業 ・ 竹原市史編さん記録保存事業 竹原の記事が多く掲載された芸南新聞 (芸南時報も含む) の見出しをデータ化し、キーワードで検索できるようにする。 ・ 文化財防火訓練 町並み保存地区及び指定文化財の2箇所を実施</p>
--	---	--	---

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
文化振興事業 13,727千円	<b>【主要目標】</b> 竹原市総合文化祭を竹原市文化団体連盟及び竹原市芸術文化振興協議会と、共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術展示会を同様に開催するなどして、芸術振興を図る。 <b>【事業内容】</b> ○ 竹原市総合文化祭開催 ○ 竹原市美術展開催 ○ 市内小中学校図画・書道展 ○ 美術展示会・コーラス発表会等開催 ○ 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント開催	○ 竹原市総合文化祭 10月25日(土)～11月9日(日) ○ 竹原市美術展 10月28日(火)～11月3日(月) ○ 市内小中学校図画・書道展 11月4日(火)～9日(日) ・総合文化祭式典と竹原市美術展の表彰式を同時に行うことで、来場者が増加した。 ・総合文化祭式典への参加人数の増加を図るため、文化団体連盟の各団体10名以上出席してもらおうよう名簿の提出等を行った。 ・市美展の出展数が、伸びなかった。 ・小中図画書道展は大盛況だった。 ○ 美術展示会・コーラス発表会等開催 ・芸術文化活動支援事業については、8団体への支援を行った。引き続き利用促進による芸術文化の振興を図る。 ○ 東京藝術大学生・大学院生による竹原芸術イベント開催 ・町並み一帯を活用した展示や小中学生との創作交流を行った。 ・ワークショップでは、作家に教わる喜び・作る喜び等、芸術の楽しさを体験してもらった。	「池田勇人没後50年特別展」を開催し、偉人顕彰を行う。 引き続き、竹原市文化団体連盟と竹原市芸術文化振興協議会が、竹原市総合文化祭を共催して開催し、文化活動の推進を図る。
常設展開催経費 2,861千円	<b>【主要目標】</b> 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて、池田勇人元首相の写真展示を開催する。 <b>【事業内容】</b> ○ 所蔵品展「初夏の薫り」 会期：4月25日(金)～6月22日(日) ○ 所蔵品展「郷土が誇る芸術家」 会期：6月27日(金)～8月31日(日) ○ 所蔵品展「郷土が誇る芸術家II」 会期：10月10日(金)～1月12日(月) ○ 所蔵品展「池田コレクショョン展」 会期：2月6日(金)～4月19日(日)	テーマ別に所蔵品を紹介した。 町並み保存地区及び周辺部で開催した「藝術」、ですか?歴史・町・広島竹原芸術祭のイベントに併せて郷土の作家作品展示を行った。 池田勇人元首相の写真パネルも併せて展示した。 常設展での来館者数の増加にはつながらなかった。	フェイスブックや新聞などを活用した情報発信に引き続き努めるとともに、他施設との連携、展示のあり方についても検討していく。
芸術体験事業 20千円	<b>【主要目標】</b> 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。 <b>【事業内容】</b> ○ お雛様に絵付けをしよう!	素焼きのお雛様に色付けを行いオリジナルのお雛様を作った。 参加者は、熱心に楽しく取り組み、焼き上がり後も喜ばれていた。	学校と連携した芸術体験事業を実施することにより、文化芸術の普及に努める。



(5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健全育成」「青少年がいまいきいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
竹原市青少年指導員設置事業 195千円	<p>【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関（団体）等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内巡回指導</li> <li>○ 学校・警察関係機関（団体）等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。</li> </ul> <p>【実施時期】 7月～3月</p>	<p>7月15日に少年補導協働員との合同研修会を実施し、竹原警察署から「青少年の非行の現状について」の実態を聞いた後、地域別に連携を行った。各中学校区のグループで日程を調整し、各地区の少年補導協働員と連携、協力し、祭り等青少年の問題行動が行われやすい行事また、コンビニや公園等の場所を中心に巡回し、問題の早期発見に努めた。</p> <p>実施回数：各中学校区で3回～8回</p>	<p>青少年指導員の巡回時間帯の21時間には青少年の姿はあまり見られなかったが、遅い時間帯における見守り体制について、警察や協働員との連携及び地域への啓発を図る。</p>
子ども会育成事業 235千円	<p>【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自びび、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月</li> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月</li> <li>○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 2月</li> </ul>	<p>6月14日（土）総会 5月22日（木）・12月11日（木）理事会実施 竹原市子ども会育成連合会「子ども創作大会」を2月7日に実施した。 広島大学の学生に講師を依頼し、手作りおもちゃ等の創作教室を行い、市内小学校1年生～6年生65名が参加した。集団作業により子どもたちの創造性を育て、相互の交流と協調性の育成を図れた。また保護者間の交流により地域の子どもの会の活性化を図れた。</p>	<p>参加児童数の増加が見られた。しかし学校別の参加児童数では、各小学校毎に偏りが見られた。 北池田区の児童の参加が増加するよう、理事會を通して周知の方法を検討していく。</p>

(6) 人材育成の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
学校教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長による人材育成計画の作成と市教委との協議</li> <li>・ 指導主事による学校訪問指導</li> <li>・ 竹原市教育委員会主催の研修会の実施</li> </ul>	<p>学校経営の基盤の確立と教職員一人一人の能力や適性等に応じた指導力の確かな向上を図るとともに、人材育成を視点とした研修及び研習指導等を計画的に実施した。校長による人材育成計画の作成と協議、年間80回あまりの指導主事等による学校訪問指導、年間を通じた市主催の研修を実施し、人材育成に努めた。研修に当たっては、また、学校訪問の際には授業観察や校長と話をする機会を設け、具体的な指導を行い充実を図った。</p>	<p>継続して、ライフステージに応じて、教職員としての資質能力の向上をより効果的に行うために、授業力向上の強化等を図る。また、校外と校内の研修を関連付けられるように取り組み、より充実を図っていく。</p>
生涯学習・社会教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した研修の実施</li> <li>○ 公民館職員研修の実施</li> <li>○ 図書館職員研修への参加、各種行事への参加</li> <li>○ 文化担当職員の研修への参加</li> </ul>	<p>10月に豊田・竹原地区PTA母親代表及び1月に竹原小学校PTAを対象に「親の力」をまなびあう学習プログラム」を活用した研修を実施した。(2回) 公民館の館長・主事・運営委員を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るとともに、学習プログラムの企画（実践）力を身につけるため、職員研修を実施した。(3回) 図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かしている。(7回) また、乳幼児への読み語りや小学生に行うブックトークに伴う職員間の研修などを行い、図書館行事に対応できる人材の研修に努めている。 文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、重伝建行政初任者会議及び担当者事務連絡会に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>引き続き、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や人材交流につなげていく。</p>

(5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健全育成」「青少年がいまいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
竹原市青少年指導員設置事業 195千円	<p>【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関（団体）等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 市内巡回指導 ○ 学校・警察関係機関（団体）等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【実施時期】 7月～3月</p>	<p>7月15日に少年補導員との合同研修会を実施し、竹原警察署から「青少年の非行の現状について」の美穂を聞いた後、地域別に連携を行った。各中学校区のグループで日程を調整し、各地区の少年補導員と連携、協力し、祭り等青少年の問題行動が行われやすい行事また、コンビニや公園等の場所を中心に巡回し、問題の早期発見に努めた。</p> <p>実施回数：各中学校区で3回～8回</p>	<p>青少年指導員の巡回時間帯の21時間には青少年の姿はあまり見られなかったが、巡回時間帯における見守り体制について、警察や協力員との連携及び地域への啓発を図る。</p>
子ども会育成事業 235千円	<p>【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自己に、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 5・12月 ○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月 ○ 竹原市子ども会育成連合会創作大会 《実施時期》 2月</p>	<p>6月14日（土）総会 5月22日（木）・12月11日（木）理事会実施 竹原市子ども会育成連合会「子ども創作大会」を2月7日に実施した。広島大学の学生に講師を依頼し、手作りおもちゃ等の創作教室を行い、市内小学校1年生～6年生65名が参加した。集団作業により子どもたちの創造性を育て、相互の交流と協調性の育成を図れた。また保護者間の交流により地域の子どもの活性化を図れた。</p>	<p>参加児童数の増加が見られた。しかし学校別の参加児童数では、各小学校毎に偏りが見られた。北郷地区の児童の参加が増加するよう、理事会を通して周知の方法を検討していく。</p>

(6) 人材育成の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	課題と平成27年度の取組方向
学校教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るための研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ・校長による人材育成計画の作成と市教委との協議 ・指導主事による学校訪問指導 ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施</p>	<p>学校教育の基盤の確立と教職員一人一人の能力や適性等に応じた指導力の確かな向上を図るとともに、人材育成を根拠とした研修及び訪問指導等を計画的に実施した。校長による人材育成計画の作成と協議、年間80回あまりの指導主事等による学校訪問指導、年間を通じた市主催の研修を実施し、人材育成に努めた。研修に当たっては、また、学校訪問の際には授業観察や校長と話をする機会を設け、具体的な指導を行い充実を図った。</p>	<p>継続して、ライフステージに応じて、教職員としての資質能力の向上をより効果的に行うために、授業力向上の強化等を図る。また、校外と校内の研修を関連付けられるように取り組み、より充実を図っていく。</p>
生涯学習・社会教育における人材育成事業	<p>【主要目標】 生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 「親の力」をまなびあひあひ学習プログラムを活用した研修の実施 ○ 公民館職員研修の実施 ○ 図書館職員研修への参加、各種行事への参加 ○ 文化担当職員の研修への参加</p>	<p>10月に豊田・竹原地区PTA母親代表及び1月に竹原小学校PTAを対象に「親の力」をまなびあひあひ学習プログラム」を活用した研修を実施した。(2回) 公民館の館長・主事・運営委員を対象に、基礎的な知識や社会教育関係事業の企画・立案・実施に係る技能等を習得し、職員の資質の向上や情報交換を図るとともに、学習プログラムの企画（実践）力を身につけるため、職員研修を実施した。(3回) 図書館では、広島県教育委員会や広島県立図書館等が開催する図書館職員研修に参加し、情報収集や業務に活かしている。(7回) また、乳幼児への読み語りや小中学生を行うブックトークに伴う職員間の研修などを行い、図書館行事に対応できる人材の研修に努めている。 文化担当職員の情報収集や資質向上を図るため、重伝建行政初任者会議及び担当者事務連絡会に参加し、文化財保存における課題や今後のあり方等について研修を行った。</p>	<p>引き続き、生涯学習・社会教育における人材育成を図るため、職員研修の確保に努め、資質の向上や人材交流につなげていく。</p>

## 5 評価委員の評価

【評価委員】	広島大学大学院名誉教授	岡 東 壽 隆
	元公立小学校校長	國 竹 鈴 子
	竹原市PTA連合会会長	吉 本 大次郎

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成27年5月13日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

### [小中一貫教育推進事業]

小中一貫教育については、平成27年4月から忠海学園が開校し、順調な運営がされているが、今後も、小中学校9年間の連続したカリキュラムを軸に、小中一貫ならではの地域の特色を生かした教育課程を進めてほしい。また、コミュニティースクール（学校運営協議会制度）の制度も視野に入れ、地域とともに学校づくりを進めてほしい。

### [外国語指導助手配置事業]

外国語指導助手3名体制で小学校1年生から外国語活動を行っていることで、英語に触れる機会が増えており、外国語指導助手とのかかわりも深まっている。更なる事業の充実を図り、将来的には身についた英語が活用できるよう取り組んでほしい。

### [小・中学校教育用ICT整備事業]

ICT機器を活用した教育について、継続して取り組んでいると感じるが、今後も先進的な取組事例を参考にしながら充実させてほしい。

### [竹原っこ夢プロジェクト事業]

同級生をはじめ、地域の方々から、企画、準備といった様々な協力を受け、夢の実現に向けて取り組むことができる事業であり、またその取組は一生心に残るものであることから、今後も効果的に活用し、ますます事業を充実させてほしい。

### [理科支援員等配置事業]

理科の授業については、指導者の影響力が大きいため、子どもが引き込まれるような魅力的な授業となるよう取り組んでほしい。また、教材によって興味関心の示し方が違うため、興味関心を深める工夫を検討してほしい。

[教育相談事業]

教育相談は、課題のある子に対する相談窓口だけでなく、すべての児童生徒からの課題や悩みを受け止め、可能性を伸ばすよう取り組んでほしい。

[生涯学習]

より良い生涯学習の推進する仕組みづくり・環境づくりのため、社会教育主事といった資格を有する職員の配置が望ましい。

[体育]

オリンピック開催が近づいていることから、スポーツアスリートといった全国で通用するような子どもを育ててほしい。また、将来的なものを見据えた指導を行うことのできる指導者の配置も必要であると思われる。

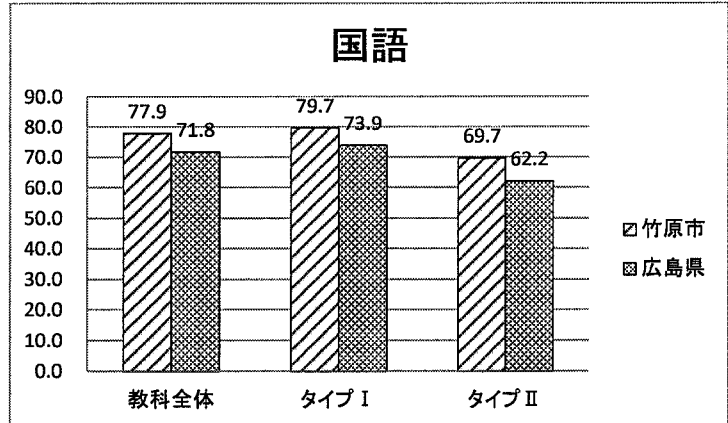
## 平成26年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果

平成26年度の調査結果は次の表のとおりです。市内各校は、それぞれの結果をもとに、改善計画を立て、一層の学力向上に取り組んでまいります。詳細につきましては、各校のホームページ等をご覧ください。実施日 平成26年6月10日(火)実施対象学年 小学校第5学年 中学校第2学年実施教科 小学校(国語・算数・理科) 中学校(国語・数学・理科・英語)

### 平成26年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【小学校】

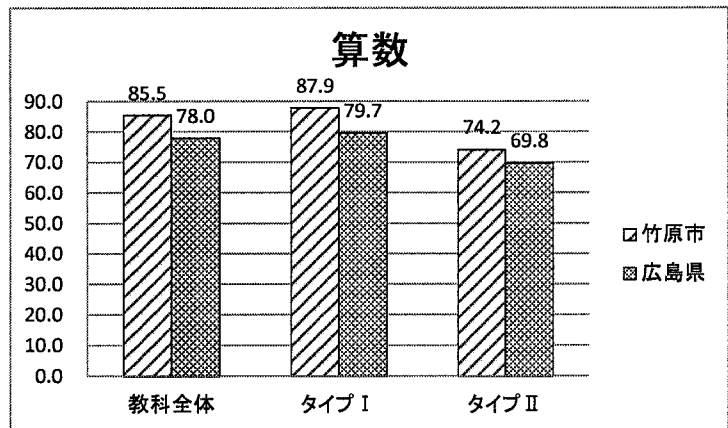
#### 国語

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	77.9	79.7	69.7
広島県	71.8	73.9	62.2



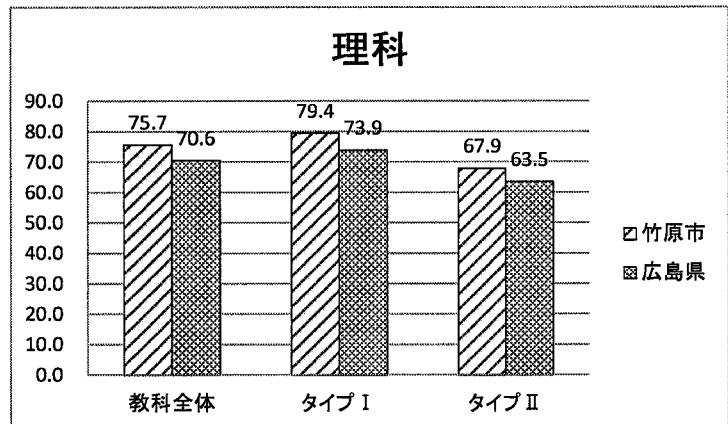
#### 算数

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	85.5	87.9	74.2
広島県	78.0	79.7	69.8



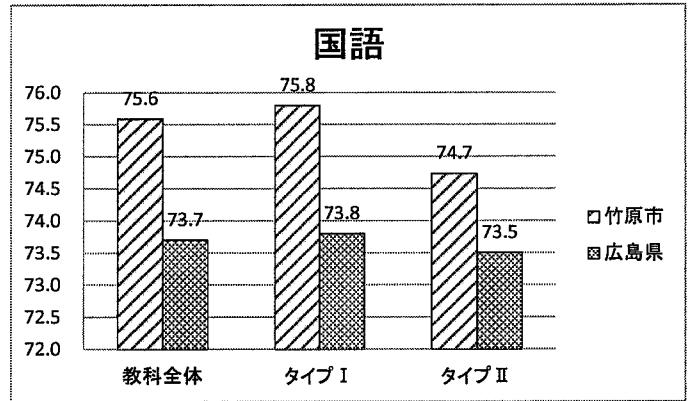
#### 理科

	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	75.7	79.4	67.9
広島県	70.6	73.9	63.5

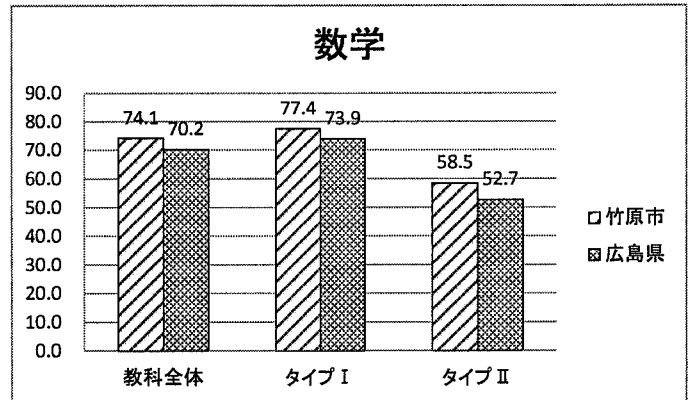


平成26年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果【中学校】

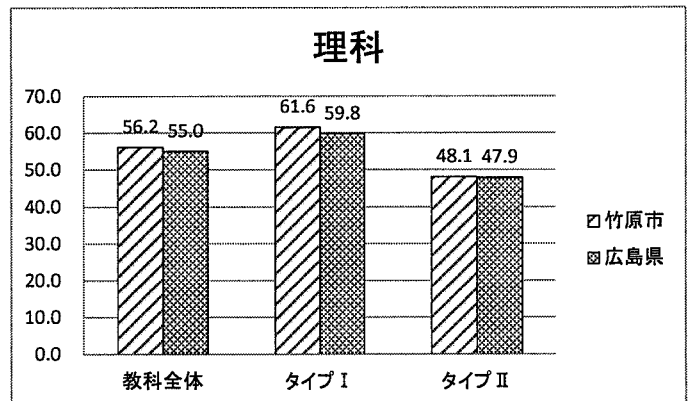
国語			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	75.6	75.8	74.7
広島県	73.7	73.8	73.5



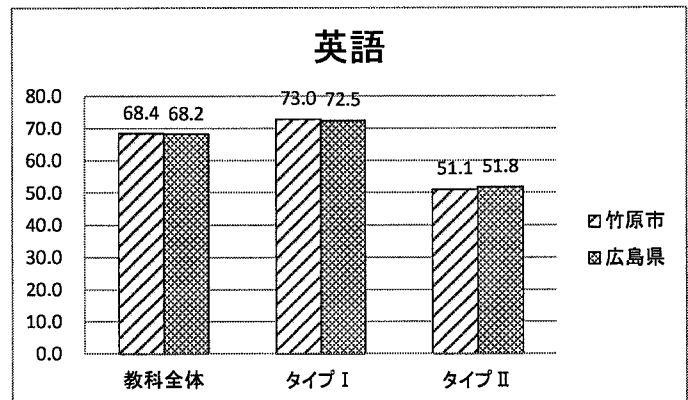
数学			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	74.1	77.4	58.5
広島県	70.2	73.9	52.7



理科			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	56.2	61.6	48.1
広島県	55.0	59.8	47.9



英語			
	教科全体	タイプⅠ	タイプⅡ
竹原市	68.4	73.0	51.1
広島県	68.2	72.5	51.8



参考資料2

平成26年度新体力テスト結果

小学校5年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (回)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投 (m)
H26竹原市	18.0	22.6	39.1	44.0	63.6	9.3	157.0	26.7
H25竹原市	18.7	22.9	36.0	44.7	63.0	9.3	153.2	26.0
H25広島県	16.7	21.0	33.3	43.7	55.2	9.3	154.4	25.0

小学校5年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (回)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフトボール投 (m)
H26竹原市	17.6	20.8	43.5	42.9	49.3	9.8	151.7	16.4
H25竹原市	17.7	21.4	41.0	42.1	48.6	9.5	154.3	17.3
H25広島県	16.2	19.5	37.4	41.4	43.1	9.6	147.3	15.1

中学校2年男子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ハンドボール投 (m)
H26竹原市	31.4	28.2	45.8	52.9	85.8	425.9	7.9	198.4	22.7
H25竹原市	30.1	27.7	47.2	50.2	88.5	421.1	8.1	199.8	21.8
H25広島県	29.8	29.3	45.2	53.2	85.6	390.7	7.9	197.9	21.6

中学校2年女子

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ハンドボール投 (m)
H26竹原市	25.1	23.7	47.3	47.3	53.9	304.7	8.9	166.8	14.0
H25竹原市	24.0	22.5	44.6	46.6	60.6	294.8	8.9	174.1	13.6
H25広島県	23.9	24.3	46.4	46.7	56.4	297.6	8.8	170.0	13.6

H24～26生徒指導上の諸問題年次集計

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H24	4	3.1	269	1.8
小学校	H25	4	3.2	373	2.5
小学校	H26	9	7.4		
中学校	H24	6	8.4	979	13.6
中学校	H25	11	15.9	891	12.5
中学校	H26	18	28.8		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H24	8	6.2	616	4.0
小学校	H25	5	4.0	529	3.5
小学校	H26	6	4.9		
中学校	H24	11	15.4	593	8.3
中学校	H25	4	5.8	414	5.8
中学校	H26	6	9.6		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	H24	2	0.15	616	0.39
小学校	H25	9	0.72	640	0.42
小学校	H26	8	0.65		
中学校	H24	21	2.94	1989	2.45
中学校	H25	25	3.62	1815	2.54
中学校	H26	18	2.88		

参考資料 3

図書館・美術館利用状況

(1) 竹原書院図書館利用状況

本館・視聴覚ライブラリー開館日数 276 日

移動図書館車 96 日

平成 26 年度 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	13,829	—	13,829
	貸出者数	30,622	6,705	37,327
	貸出冊数	141,627	25,491	167,118
団体貸出	登録団体数	227	—	227
	貸出冊数	10,226	29,600	39,826
停本所	停本所数	10	—	10
	貸出冊数	10,226	—	10,226
貸出冊数合計		162,079	55,091	217,170

(2) 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	
年間開館日数		259 日	258 日	218 日	
展覧会件数		5 件	6 件	6 件	
総入場者数		2,876 人	10,176 人	12,652 人	
展覧会平均入場者数		575 人	1,696 人	2,109 人	
展 覧 会 入 場 者	1 日平均入場者数	11.1 人	39.4 人	58 人	
	常 設 展	件数	4 件	4 件	3 件
		開館日数	254 日	209 日	144 日
		入場者数	2,485 人	2,831 人	2,198 人
		1 日平均入場者数	9.8 人	13.5 人	15.3 人
		土日祝日平均入場者数	13.3 人	19.3 人	17.2 人
	企 画 展	件数	1 件	2 件	3 件
		開館日数	5 日	49 日	74 日
		入場者数	391 人	7,345 人	10,454 人
		1 日平均入場者数	78.2 人	149.9 人	141.3 人

文化創造ホール

区 分		平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
利 用 日 数		126 日	150 日	178 日
展示会		43 日	85 日	108 日
文化講演・講座		7 日	4 日	4 日
演奏会等		1 日	1 日	2 日
参加型イベント		2 日	2 日	3 日
講習会等		26 日	29 日	32 日
展覧会等準備日数		47 日	29 日	29 日
利用件数		47 件	42 件	35 件
年間入場者数		11,247 人	16,725 人	16,632 人
1 日平均入場者数		89.3 人	111.5 人	93.4 人

たけはら美術館

平成 26 年度 年間利用者数

14,123 人 (昨年度比△12,778人)